

平成23年度事業計画について

平成23年6月5日

日本ボーイスカウト大阪連盟

理事長 谷 口 修

今、私たちは「再生プロジェクト」を進めています。このプロジェクトは、現実と遊離した夢物語ではなく、皆さんがお持ちの素朴な思いを具現化するプログラムです。昨年配布した「元気サポートシート」は、13のタイトルで24ページにわたるものですが、ここでは、「私たちはスカウト運動を行っている以上、本来のスカウティングをしましょう。その為には組織、活動、人が大切である」と言っています。さらに具体的な目標として、平成24年の大阪連盟キャンポリーにボーイ部門は標準隊で参加しようと呼びかけています。現実的に、これはキツイ呼びかけです。大阪連盟を支えている各団の状況は半分近くが複数班に満たない状態です。加えてカブもビーバーも減少しています。このままでは、私たちが提唱するスカウト教育が円滑に実施出来ない団・隊が今後も増え続けていくのではと危惧しております。厳しい状況であるだけに、各団各様にスカウト教育の特性を活かせる体制に補強しなければなりません。そのために、各地区では地区委員長と地区コミッショナーを中心に再生プロジェクトの趣旨を各団に反映させるための機関を設け、「元気サポートシート」に基づいた活動の見直しがより推進出来るようお願いしているところです。

リーダーとスカウト

標準隊を目指そう、スカウト教育を推進していこうと呼び掛けています。そのキーとなるのは現在のリーダー、スカウトの在り様です。この運動は熱心なリーダーに支えられています。しかし、熱心だけでは推進できない。そこにはスカウト教育に必要なスキルがあってこそその話です。いま指導者委員会ではリーダーに対するサポートとして「トレーニングカレンダー」に力を入れてもらっています。また5月のゴールデンウィークにボーイ部門のウッドバツ実修所を開設しました。それらを含め、指導者の目指す目標として「カリスマ隊長アワード」プログラムが打ち出されています。指導者の熱意を質に転化し、より良い指導者への育成に力を入れていこうとするものです。

次にスカウトですが、スカウティングは班制度、進歩制度、野外活動が大きなキーとなります。グループの中の個人、共同体としての班。すなわちグループ活動は個人の義務と責任を明確にし、資質を伸ばし、共同体を豊かにしてくれます。それも拮抗する複数の班があれば、その効果はさらに相乗的に高まり、隊という大きな共同体に反映されます。複数班の必要性がここにあります。スカウトの喜びはプログラム活動に参加することによる進級への挑戦と達成にあります。更にそれらを野外というフィールドで行うことにスカウティングの醍醐味があります。かつて2級スカウトはハイキング、1級スカウトはキャンプ、シニアスカウトは移動キャンプの達人を目指してと言われてきましたが、今日でも変わることはありません。それらの楽しさを体感してこそ、いつもいつも、スカウトであり続けることができるのです。菊を取得してベンチャーに上進し、更なるダイナミックなプログラムに挑戦する。富士章を取得しローバースカウト年代に持てる技能と体力を駆使し、地域への奉仕を含めたユースプログラムを展開する。他方カリスマ隊長アワードをゲットしスカウトに良きリーダーとして臨む、今年はスカウト、リーダーともに質を求めていきたいと思

ます。

組織の活力

運動の発展は、機能する組織と若々しい力です。機能する組織とは身の丈に合った組織です。大きな看板は出しているが、中身が違えば信用はなくなります。服が大きければ肥えるか、身に合った服に着替えるしかありません。先に言いましたスカウト減少により、私たちの組織はこの様な現実には陥っているのです。この1～2年で決断しなければなりません。

日本連盟では「ボーイスカウト教育の特徴を生かして活動する団体及び参加者」を2号会員として組織の多様化を図ろうと試みています。この実験的取り組みを第三者的に傍観するだけでなく、如何にすれば私たちの運動にプラスになるか、多くの青少年にスカウティングを楽しんでもらう一方法として、活用する方向で検討・研究しなければと思っています。

組織の再生には内と外からの新鮮なエネルギーが必要です。特にユースと呼ばれる年代の若者が明日の運動の鍵を握っています。幸いなことに、昨年のカブラリーやエコフェスタ、15NJ、甲子園球場での東日本大震災義援金募金活動など若いリーダー、スカウトの活躍が目につきました。「スカウトおおさか」や「ホームページ」も4人の青年諸君が関わってくれています。15NJ以降、ユース年齢層のコミュニティーも自主的に形成されようとしています。コミッションの管轄下でユースプログラムのタスクチームが「今後のユースの在り方」に関する提言を出してくれました。

この様なさまざまな青年諸君の積極的な動きを組織的、継続的に大きな力にしていくべきと考えています。若い人々に魅力を感じさせない運動は消滅していきます。若い人々が参画できない組織は発展が望めません。大阪連盟はそうあってはならない。若いリーダー、スカウトが参画し、魅力を感じるものに是非していきましょう。

また、外部から支援いただいている方々との連携を如何に構築していくのかを考えていかねばなりません。資金援助だけでなくもっとほかにも連携の仕様がするように思えます。自我自賛、井の中の蛙、自己中心に陥らず、外部の声に真摯に耳を傾けることも必要ではないでしょうか。

これらは、昨年公益法人となった日本連盟のメンバーとしての使命でもあるのです。

運動の広がり仲間から

戦後再建から60余年の時間の中で私たちは何を得られたのでしょうか。それはこの運動に関わった多くの人々です。活動の中で育った多くのスカウトたちです。現在私たちが行っている活動は、過去からの長い時間の中で関わった多くの人々により支えられ、継続することができたのです。だとするならば、それらの人々が私たちの財産であります。しかし、その財産を生かし切れているのか疑問です。今は登録数の少ない団であっても、20年、40年、60年の歳月の中で、多くの青少年を世の中に送り出している、多くの関係者に支援していただいていることを思い出しましょう。そして、送り出した青少年たちが、中高年となって地域の中で活躍されているのです。それらの人々に再度こちらに顔を向けてもらえる、再度支援・協力をしてもらえる土壌を作っていくべきではないでしょうか。地域への広がりはこちらからも始まると思います。育成会の充実、OB会、スカウトクラブの結成など実現可能なところから実践していきましょう。

すべての支援を団・隊に

ボーイスカウト日本連盟は「より良いスカウティングをより多くの青少年に」の下に、新規加盟

員を増やし途中退団を無くすことを呼び掛けています。これを受け各団・地区・都道府県連盟がそれぞれの方策を持って臨んでいるところですが、未だ減少に歯止めがかからないのが現状です。これを打開する特効薬を見つけることはできません。基本的には団の活動と地域の人々のニーズ、特に青少年たちの成長、あり方について、ボーイスカウト運動がどの様に支援できるのかが問われています。

この間、大阪連盟は「標準隊を目指して 一すべての支援を団・隊に一」を掲げ、再生プロジェクトに取り組んでおります。内容的には前段で述べたとおりです。再生に必要な課題と行動指針は「元気サポートシート」に簡潔に網羅されています。これからは議論より実行です。従って本年は、団の努力と決断をしなければならない重要な年になります。如何に標準隊に向け現実化するのか。実現不可能なら団のあり様をどの様に持つていくのか。平成 24 年の大阪連盟キャンポリーを目標に各団ともボーイ部門では複数班を合言葉に動き出しています。「一所懸命」という言葉があります。昔、武士が自分の領地を安堵する為、命をかける様を言い表した言葉です。まさしく「一所懸命」に団の活性化、再生に取り組んでいこうではありませんか。

幸いにして、今年は大きな事業はありません。平成 23 年度に行われる地区・府連のすべての事業が団の活性・再生に寄与できるものでなくてはなりません。

新たな本部から運動の発信を

財団法人大阪ボーイスカウト振興協会のご尽力により、私たちの本部機能を満たすことができる会館が今般手に入りました。戦後の再建から 60 余年を経て、私たちの城をもつことができたのです。その意味で今年度は大阪連盟の歴史的な年と言えます。

私たちは、この拠点を地域における青少年活動の発信基地となるように運動の質を高めていきましょう。私たちの仲間が元気に明るく活動できるよう組織の絆を強くしていきましょう。運動の未来を夢見て、いまを力強く活動していきましょう。そして本日の総会を契機に皆が一丸となって再生・改革に取り組み、次の世代により良い状態でこの運動を繋げていきましょう。

以上、23 年度総会に当たり、基本的な姿勢を述べさせていただきました。共に汗をかきやり抜きましょう。

1. 事業計画の目標

平成23年度の目標

『標準隊を目指して ーすべての支援を団・隊にー 』

ー 団、隊の再生・活性が明日の運動を輝かせる ー

重点課題

- 1 標準隊を目指す具体的活動を全ての隊が行う
- 2 「元気サポートシート」活用の徹底
- 3 複数隊による活動の推進
- 4 地区の団支援機能の充実
- 5 スカウト活動を「知らせる」「見せる」「理解してもらう」活動の推進
- 6 新しい活動拠点を活用した、運動の結集と社会への発信

2. 事業計画の骨子

①主要な活動

本年も引き続き、『再生プロジェクトの推進』を実行計画に基づき全組織一体となって推進し、一丸となって足並みをそろえ取り組んでいく。

ー 再生プロジェクトの目標 ー

平成24年「大阪連盟キャンポリー」開催時に、すべての団が標準隊で参加できることを目指す。

※事業計画書最終ページに、推進計画を掲載。

②各委員会の取り組み

各委員会は、通年の活動・特別な活動全てがこの取り組みに貢献し、活動目標を達成するため計画・取り組みを行います。各委員会の今年度の目標・テーマは、以下の通りです。

組織委員会

目標：地域との連携強化による組織拡充と連盟組織の活性化を図る

「なんでも、少しでも改善しよう！」

主活動

- ・組織拡充顕彰と団の活性化の促進
- ・効果的な広報の仕組みの提案
- ・募集活動のツール作成
- ・財団維持会員の増強
- ・スカウト用品購買の促進

指導者委員会

目標：分母を大きく分子と共に育つ

主活動

- ・トレーニングカレンダーの発行（定型外訓練の定型化 [地区合同開催の確立]）
- ・カリスマ隊長プロジェクトの浸透

- ・平成23年度WB実修所BS課程大阪連盟開催
- ・WB研修所新体系開催のための運営検討
- ・WB研修所資材管理システムの確立
- ・「新・野外活動の安全」販売促進
- ・ゲームヒント集の発行と研究会の開催
- ・技能章研修会（基本技能章）開催の検討

スカウト委員会

目標：スカウト教育法に基づくプログラム展開と各部門におけるスカウトの進歩の促進を支援する

主活動

- ・スカウト教育の目標像である富士章スカウト育成の支援
- ・ボーイスカウトの根幹を担う「野外活動」、特にキャンプを進歩課目に取り入れたプログラム開発の支援
- ・スカウトの進歩に対する意識強化とその促進を図るため、活用資料として進歩状況をまとめ、報告する

行事委員会

目標：組織の活性化に直結した行事・奉仕活動の展開

主活動

- ・各種行事を通じた、組織の課題達成への取り組み
- ・大阪連盟60周年記念キャンポリーに向けた支援
- ・スカウト奉仕活動の活性化

国際委員会

目標：23WSJに向け国際プログラムの推進による世界に通用するスカウトの育成

主活動

- ・WTW (Welcome The World) プロジェクトへの支援
- ・前年度の海外派遣事業を紹介する
- ・国際関係プロジェクト及び派遣等の実施

トレーニングチーム

目標：理事会・指導者委員会の付託に応え、質の高い指導者研修を提供する

主活動

- ・新たなリーダートレーナー、副リーダートレーナーを養成する。
- ・チームの資質向上のため、全体集会（研修）及び役務別研修を実施する
- ・新任チーム員のための研修会の実施
- ・チーム員のための研修会の実施

60周年記念キャンポリー

目標：キャンポリーを通じた標準隊活動の実現

主活動

- ・キャンポリー準備・参加を通じ、標準隊活動を体現する
- ・標準隊活動を平成23年9月実施への取り組み

平成23年度 事業計画

各 種 行 事	6月5日	大阪連盟年次総会(アネックスパル法円坂)	
	7月24日～8月11日	第22回世界スカウトジャンボリー派遣	
	9月19日	スカウトの日	
	9月19日	世界スカウト平和の日	
	10月15日～16日	第54回ジャンボリー・オン・ジ・エア、ジャンボリー・オン・ジ・インターネット	
	11月 5日～ 6日	大阪連盟スカウトフォーラム	
	平成24年2月5日	ベンチャープロジェクト発表会	
	平成24年1月 日	「組織拡充」団役員の集い	
	平成23年10月2日	第4回国際活動セミナー	
	年11回	富士章面接会	
	平成24年3月21日～29日	第7回ハワイ・レインボー・キャンプ	
	平成24年 3月 日	平成23年度富士章受章スカウト激励会	
	平成24年 3月 日～ 日	平成23年度富士章受章スカウト代表表敬	
	指 導 者 養 成	大阪連盟主催	
		4月30日～ 5月 3日	WB研修所BVS課程大阪第38期(豊中市立青少年自然の家「わっぱる」)
		5月 4日～ 5月 7日	WB研修所CS課程大阪第147期(豊中市立青少年自然の家「わっぱる」)
		5月 4日～ 5月 7日	WB研修所BS課程大阪第153期(大阪市立信太山青少年野外活動センター)
		9月22日～9月25日	WB研修所CS課程大阪第148期(大阪市立信太山青少年野外活動センター)
		9月 17日～ 9月 19日	団運営研修所大阪第28期(豊中市立青少年自然の家「わっぱる」)
		9月 22日～ 9月 25日	WB研修所VS課程大阪第22期(キャンプおおさか)
10月 7日～10月10日		WB研修所BS課程大阪第154期(キャンプおおさか)	
日本連盟主催			
10月8日～ 10月13日		WB実修所BVS課程第34期(那須野営場)	
10月8日～ 10月13日		WB実修所CS課程第151期(那須野営場)	
4月30日～ 5月 5日		WB実修所BS課程第174期(新城・吉川野営場)	
4月30日～ 5月 5日		” 第175期(キャンプおおさか)	
10月29日～11月 3日		” 第176期(那須野営場)	
10月29日～11月 3日		WB実修所VS課程第20期(那須野営場)	
11月18日～11月20日	コミッショナー実修所第22期(那須野営場)		
6月22日～ 6月26日	リーダートレーナーコース30期 (兵庫県高等学校野外活動センター)		
8月24日～ 8月28日	副リーダートレーナーコース第55期(那須野営場)		

再生プロジェクト	4月～平成24年3月 (平成24年まで継続事業)	再生プロジェクト実行
研究、調査、講習会	24年2月 日	日本連盟トレーナー研究集会
	4月～平成24年3月	大阪連盟トレーニングチーム研究会
	平成24年1月21日～22日	研修所研修会
	4月～平成24年3月	ボーイスカウト講習会各地区担当 25回
	4月～平成24年3月 月 日	プログラム研究・開発プロジェクト 組織拡充大阪連盟顕彰
	平成24年3月 日～ 日	大阪連盟スカウト展
	毎月第3木曜日	コミッショナー集会
	4月～平成24年3月	コミッショナー研究会
	4月～平成24年3月 月 日	コミッショナー部門別研究会 訓練及びプログラム資料・発行
	7月3日	日本赤十字水安全法講習会
	7/10、10/16、11/6、 11/12、12/11、1/28、2/5	自然体験活動指導者養成事業(各地域7ヶ所開催)
	10月23日	安全促進フォーラム
	11月27日	安全フォーラム
	月 日	発達障がいのある青少年を支援する指導者講習会
	月 日	大阪連盟野営場設置に関する調査・研究
	4月～平成24年3月	SWO運用(インターネットホームページ)
	4月～平成24年3月	ユース活性化プログラム
国際関係海外派遣	6月～8月	国際キャンプスタッフ計画派遣
	6月～9月	カンデルスティッチ夏季野営スタッフ派遣
	7月10日～7月18日	第28回APR中国(台湾)連盟100周年記念ジャンボリー派遣
	7月～8月	平成23年度スカウト・オーストラリア短期留学派遣
	8月22日～28日	平成23年度韓日スカウトフォーラム派遣
	8月20日～29日	CJKプロジェクト2011派遣
	平成24年2月	ウガンダ連盟とのUN-HABITATプロジェクト派遣
	平成24年2月	アジア太平洋提携プロジェクト(バングラデッシュ)派遣
国際関係国際参加	4月～平成24年3月	海外スカウト受入れ
会議・委員会	4月～平成24年3月	姉妹都市協会事業参加
	6月5日	大阪連盟年次総会
大阪連盟関係	毎月第2木曜日	理事会(8月を除く)
	4月～平成24年3月	正・副コミッショナー会議
	4月・平成24年2月	名誉会議
	4月～平成24年3月	各種常設委員会・特別委員会
	4月～平成24年3月	常設委員長・特別委員長会同
	7月・平成24年2月	ブロック関係会議
広報・奉仕・協賛	4月～平成24年3月	ボーイスカウト啓発行事

そ の 他	4月～平成24年 3月	スカウト展・1日体験入隊
	4月・平成24年 3月	選抜高校野球大会開・閉会式奉仕(甲子園)
	4月 1日～ 4月30日	緑の募金
	4月24日	平成23年度大阪市こどもカーニバル奉仕
	4月・ 9月	全国交通安全運動参加
	6月 日	環境月間行事環境美化行事
	10月 日	御堂筋KAPPO
	10月30日	第1回大阪マラソン
	11月 日	大和川クリーンキャンペーン
	平成24年 1月29日	大阪国際女子マラソン奉仕
	4月～平成24年 3月	大阪21世紀計画に関する行事
	4月～平成24年 3月	広報紙発行
	4月～平成24年 3月	国、府、市教委関係機関及び団体、近府県BS連盟、GS 支部、新生活運動協議会、青少年育成府民会議、国際交流 団体協議会、及び青少年の健全育成に関して本連盟と目的 を同じくする機関団体の行事、会議への参加、共催、後援
	5月28日	平成23年度全国大会(東京)
	平成24年 1月28日	県連盟代表者会議
	5月29日	第1回県連盟コミッショナー会議
	9月17日～19日	第2回県連盟コミッショナー会議
	平成24年 1月14日～15日	第3回県連盟コミッショナー会議
	11月26日～27日	全国事務局長会議(山口)
	年4回	教育推進会議
年4回	各種委員会	
12月3日～4日	県連盟ディレクター研究集会	
7月・平成24年3月	中央名誉会議	
5月・10月・24年 1月・3月	理事会・評議員会	

・この外臨時、緊急の事業については、関係委員会または事務局において立案の上、
理事会の承認を得るものとする。

は新規事業

日本ボーイスカウト大阪連盟